

共通教育教養科目（学問分野別・主題探究型科目）シラバス登録の手引き

共通教育教養科目（1単位）をご担当いただき、ありがとうございます。

学問分野別科目と主題探究型科目につきましては、以下のような科目の趣旨に沿った授業計画を立てていただくよう、お願いします。また、**共通教育科目としてふさわしい内容やレベル**であることにも、ご留意ください。

○学問分野別科目

基本的には**大人数クラス（120～150人程度）**で、各学問分野のものの見方・方法論及び基本的知識を身に付けることを目的として、初めてその学問を学ぶ学生を対象に開講する。授業内容としては、**その学問分野全体を俯瞰する部分は必須である**が、もの見方・方法論等を提示するために、その中の特定の領域を取り上げて教授することも可能である。

○主題探究型科目

汎用的能力育成という視点から、演習形式や学生へのフィードバックを行う双方向型のレポートの活用等、可能な限りアクティブ・ラーニングを促すための手法を組み入れた50人程度の中規模クラスで開講する。**個々の授業では教員が探究主題（問い）を授業題目として設定する**。これを基に学生が自ら学習課題を設定して、主体的に学習を行いながら課題を探究する。

※特に次の点にご注意ください。

学問分野別・主題探究型科目は、8回で1単位の講義科目であり、実習科目（15回で1単位）ではないので、実習・実技・野外調査・グループワーク・プレゼンテーション等の活動は、全8回の授業時間の一部に留めてください。また、これらの活動は、**教員の指導のもと正規の授業時間内に実施**するようにしてください。

【シラバス記入要領】

授業題目

授業科目名と授業題目は同一または非常に似通ったものは避けてください。

学問分野別科目では、主な話題となる分野・領域が分かるように授業題目を設定してください。

主題探究型科目では、授業における探究主題（問い）を授業題目として設定してください。

授業の目的

授業の到達目標

学問分野別科目、主題探究型科目の趣旨に沿って、授業の目的、到達目標を記入してください。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／共通教育の理念・教育方針に関わる項目

特に関係すると思われる1～2項目をチェックしてください。

授業概要

○学問分野別科目

150人程度の、初めてその学問を学ぶ受講生を想定してください。

授業において学問分野全体を広く見渡す（俯瞰する）ことを記載してください。例えば、その学問分野がどのような領域から成り、何を扱うのか、具体的に解説して下さい。「生活科学入門」のような総合分野では、学問分野の代わりとなるテーマを設定し、それに基づいて俯瞰しても構いません。

これに加え、個々の領域を取り上げて、学問分野における位置づけなどを解説することも効果的です。広い観点（学問分野）から各論（領域）に入り、それを具体的に学ぶことで、立ち返って学問分野におけるものの見方・方法論を学修しようというのが、当科目の趣旨です。

○主題探究型科目

50人程度の受講生を想定してください。

授業における探究主題（問い）を基に、学生が自ら学習課題を設定できるように配慮してください。また、汎用的能力育成という視点から、**アクティブ・ラーニングを促すための手法を組み入れてください**。シラバス入力画面では以下の手法がリストアップされますので、主要なものを1～3個選択してください。

〈主題探究型科目におけるアクティブ・ラーニングを促すための手法〉

Problem Based Learning / Project Based Learning

調査

実習

実技

実験

ロール・プレイング / シミュレーション

ペア・グループワーク

ディスカッション / ディベート

プレゼンテーション

双方向型演習

受講条件

学問分野別科目は、初めてその学問を学ぶ受講生を想定しています。また、主題探究型科目は汎用的能力育成を目的としています。これらの科目では**「受講条件」**を記入しないでください。

※以下のホームページで、教養科目シラバス登録の手引き（本書）、アクティブ・ラーニングを促すための手法の解説、シラバス例等が参照できますので、ご活用ください。

「共通教育教養科目シラバス登録について」

<http://web.iec.ehime-u.ac.jp/syllabus.html>